児童に見られるつまずき

　速さの意味や表し方を理解することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　時間と道のりの関係を数直線図に表し、式と関連付けて説明し合う活動を通して、速さの意味について理解を深めさせる。

指導事例集ｐ．５９

１　学年・単元名　　第６学年　速さ（数量関係領域）

２　単元目標

・単位量あたりの考え方を用いて、速さ・道のり・時間の関係を調べようとする。

　【関心・意欲・態度】

・道のりと時間の関係から、速さの意味や表し方がわかる。　　　　　　　　【数学的な考え方】

・速さの意味とその表し方がわかり、速さについての計算ができる。　　　　　　　 　 【技能】

・速さの意味や表し方、比べ方を理解している。　　　　　　　　　　　　　　　 【知識・理解】

参考：単元について

３　単元の内容

・走った道のりと時間がそれぞれ異なる動物の速さを考える

・１ｍあたりの時間で比べたり、１秒あたりの距離で比べたりする比較方法で考える

**・二つの自動車の速さを比べ、速さを求める公式をまとめる**

・動物の速さと時間から道のりの求め方を考え、公式をまとめる

・自動車の速さと道のりから時間の求め方を考え、公式をまとめる

・秒速・分速・時速の相互関係を調べ、いろいろな速さを比べる

４　本時の目標

　　速さの意味と表し方を理解し、速さを求めることができる。

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　 | 児童の活動 | 指導上の留意点**太字：つまずきに対する手立て** |
| 導入展開まとめ | １．本時のめあてをつかみ学習の見通しをもつ。Ａの自動車は150ｋｍを2時間で、Ｂの自動車は240ｋｍを3時間で進みました。ＡとＢの自動車では、どちらが速いですか。どちらが速いかくらべよう。２．速さの比べ方を考え、話し合う。 　・１時間あたりに進む道のりでくらべる。　・１ｋｍ進むのにかかる時間でくらべる。３．自力解決をする。　・数直線図をかく。　・式で、１時間あたりに進む道のりを求める。　　Ａ　150÷2=75 1時間あたり75㎞進む　　Ｂ　240÷3=80　　　　 1時間あたり80㎞進む　　　 Ｂの自動車のほうが速い４．自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりする。・速さは、道のり÷時間で求められることを確認する。　・「時速」「分速」「秒速」について知る。５．本時のまとめをする。(１)　練習問題を考える。(２)　学習を振り返る | ・２つの自動車の速さを比べること、どちらもかかった時間と道のりが違うことをおさえる。・前時で考えた２つの方法を想起し、速さの比べ方の見通しをもてるようにする。・１時間あたりに何ｋｍ進んだかでくらべることを明確にする。・**数直線図に表し、１時間あたりに何ｋｍ進むのか見通しをもち、立式できるようにする。****・数直線図がかきにくい児童には、ヒントカードを参考に、道のりと時間を書き込んでいくようにする。****・1時間あたりに進む道のりを求める立式に困っている児童には、簡単な数値に置き換えて考えるよう助言する。**・自分の考えが説明できるように、まとめさせる。・１時間あたりに進む道のりが長い方が速いといえることについて確認する。・速さを表す単位時間には、1時間の他に１分、1秒もあることをおさえる。　　　◇「速さ」の意味や表し方、「速さ」を求める公式を理解する。【知識】・隣同士で説明し合う時間をとることで、考えを深めさせたり、確かめさせたりする。・今日の学習についてふり返りカードに感想を書かせる。☆中学校においても、速さを使った問題が扱われることを示唆する。 |